

どのワクチンを選ぶべきかなあ・・・

自分の持病や年齢に合ったワクチンを教えてほしいな！

ワクチン接種 ご案内

ワクチン接種前に
疑問や不安なことを
相談したいのですが

複数のワクチンを打ちたいので、
順番やスケジュールのアドバイスをいただきたい

ご相談・お申込み方法

- ご通院中の方 ☞ 受診の際、主治医にお問い合わせください
- ワクチン接種にお悩みの方 ☞ 麻生総合病院「ワクチン専門外来」にご相談ください
- 接種したいワクチンが決まっている方 ☞ 下表の各施設に直接お申し込みください

麻生総合病院

予約センター（または予約窓口）

044-987-3293

9:00～17:00 月～土（日・祝日を除く）



◆ワクチン専門外来（麻生総合病院・内科外来）

水堂 祐広 医師（日本感染症学会専門医・指導医）

水曜 PM

※ワクチン接種を伴わないご相談やアドバイスのみの場合、
相談料¥1,650(税込)を頂いております。

ワクチン種類	ワクチン名	負担形式	¥/回 (税込)	接種 回数	対象
肺炎球菌	ニューモバックス	公費 (川崎市)	¥4,500	1回	接種日時時点で65歳の方 ※条件あり。詳細はお問合せください。
		自費	¥8,250	1回	接種希望者
	バクニュバンス	自費のみ	¥11,000	1回	接種希望者
		自費のみ	¥11,000	1回	接種希望者
帯状疱疹	シングリックス	自費のみ	¥22,000	2回	50歳以上の接種希望者
RSウイルス	アレックスビー	自費のみ	¥25,000	1回	60歳以上の接種希望者
子宮頸がん	サーバリックス(2価) ガーダシル(4価)	公費 (川崎市)	無料(2025年3月末までに接種を開始した方)	3回	小6～高1女子+キャッチアップ対象者
		自費	¥17,600	3回	接種希望者(男女)
	シルガード9(9価)	公費 (川崎市)	無料(2025年3月末までに接種を開始した方)	2～3回 ※1	小6～高1女子+キャッチアップ対象者 接種希望者(女性のみ)

※1 年齢によって接種回数異なります。詳細はお問い合わせください。

総生会健診センター

(麻生リハビリ総合病院 内)

予約専用044-981-6883

10:00～15:00 月～土（日・祝日を除く）



ワクチン種類	ワクチン名	負担形式	¥/回 (税込)	接種 回数	対象
B型肝炎	ヘプタバックス	自費のみ	¥4,950	3回	接種希望者
麻疹・風疹	MRワクチン	公費 (川崎市)	¥3,200	1回	妊娠を希望する女性とそのパートナー
		公費 (川崎市)	無料	1回	第5種定期事業チケットが届いている方
		自費	¥8,580	1回	接種希望者
水ぼうそう	水痘ワクチン	自費のみ	¥7,150	1回	接種希望者
おたふくかぜ	ムンプスワクチン	自費のみ	¥5,500	1回	接種希望者

※麻生リハビリ総合病院でも「肺炎球菌ワクチン」、「帯状疱疹ワクチン」を取り扱っております。



*季節性ワクチン(インフルエンザ・新型コロナ)については、当該時期に別途お知らせしております。

*通院中の患者様は主治医、窓口にお問い合わせください。

*抗体の有無を調べたい方は、血液検査による各種抗体検査も可能です。

詳しくは 総生会健診センターHP、または直接健診センターにてお問い合わせください。

肺炎球菌

(推奨対象)

- ・年齢問わず、糖尿病、喘息、免疫疾患など肺炎重症化リスクが高い方
- ・65歳以上の公費を利用し、しっかり肺炎を予防したい方
- ・公費年齢を過ぎたが、現在肺炎予防が不十分な方

肺炎は、**乳幼児や高齢者では死亡につながるリスクが決して低くありません**。その中で肺炎球菌は、主に小児の鼻やのどに生息し、多くは子供の風邪などから大人へ感染するといわれており、「肺炎死亡第一位」の原因菌となっています。

川崎市では、対象者が公費補助(生涯1度のみ)で受けられますが、それ以外にも、持病やリスクがある方は**年齢を問わず肺炎予防が重要です**。現在、公費が利用できる年齢でない方も、5年以内に接種をしていない場合は、接種をご検討ください。

带状疱疹

[接種回数:生ワクチン1回、不活化ワクチン2回]

(推奨対象)

- ・免疫抑制の内服がある方
- ・带状疱疹を予防したい方
- ・50歳以上の方



带状疱疹は年齢を問わず発症し、高齢者では80歳までに3人に1人が発症するといわれています。発症の辛さだけでなく、治癒した後も非常に辛い神経痛(PHN)など後遺症に悩まされることで知られています。幼少期に罹った水痘ウイルスが体内の神経節に潜み続け、この時獲得した抗体が年齢とともに減少し、体力を消耗した時など潜伏ウイルスが活発化して带状疱疹を発症します。当院では、『シングリックス®』ワクチンを推奨しています。接種回数や値段に違いがありますが、生ワクチンでないため持病を問わず接種でき、副作用が少なく予防効果も高いとされています。

RSウイルス

[接種回数1回]

(推奨対象)

- ・60歳以上の高齢者
- ・喘息やCOPDの方
- ・心疾患などがある方
- ・糖尿病や慢性腎臓病などで免疫機能が低下している方

2歳までにほぼすべての子どもが感染するとされ、その後、生涯にわたって何度も感染と発症を繰り返します。特に高齢者や慢性の基礎疾患(心疾患、糖尿病、慢性腎臓病、COPDなど)がある場合は、肺炎などの合併症を引き起こし、介護施設などでも集団発生することがあります。

子宮頸がんワクチン

[接種回数 2~3回]

(推奨対象)

- ・川崎市定期接種対象者
- ・キャッチアップの対象者
- ・自費での接種希望者(男性:2・4価ワクチンのみ)



子宮頸がんはワクチンで90%以上の予防効果があるといわれています。また、陰茎がんの原因、性交渉による感染の機会を下げるため、海外では女性だけでなく男性も接種しています。性交渉を経験する前に接種することが大切です。多感な年齢の接種のため、婦人科外来でサポートしています。(中高生向けのパンフレットもご用意しています)

B型肝炎

[接種回数3回]

(推奨対象)

- ・医療機関や感染のリスクのある環境にご勤務、入学される方



血液感染では最も感染力が強く、急性肝炎や劇症肝炎を発症することもあります。軽症でも気づかないうちにキャリアとなり、パートナーや家族へ感染させることもあります。

キャリア女性が母親の場合、赤ちゃんは出生直後にグロブリン注射など特別な対応が必要になります。

麻疹・風疹

[接種回数1回]

(推奨対象)

- ・これから妊娠を希望する女性、そのパートナー(川崎市風しん対策事業)
- ・抗体検査で基準値以下の方で公費接種対象者(第5種定期接種)
- ・抗体が低いことを指摘された方
- ・医療従事者

成人での感染は重症化することがあります。特に、女性は妊娠中に感染すると流産のリスクだけでなく、赤ちゃんが心臓・耳・眼等に異常を持って生まれてくることがある胎児の先天性風疹症候群が問題となります。パートナーから妊婦が感染するケースが多いため、男女問わず接種が推奨されています。

水痘(水ぼうそう)

[接種回数1回]

(推奨対象)

- ・保育園や幼稚園、医療機関など感染リスクが高い環境にいる方
- ・水疱瘡の既往がなく、小児期のワクチン接種歴もない方

水痘感染の問題は、成人感染の重症化、妊娠中の流産、胎児の多発奇形、発達遅延などの神経障害のリスクです。また、すでに罹ったことがある方は、抗体が年齢とともに減少して起こりやすくなる**带状疱疹に罹ることもあり、予防接種が有効です**。大切なのは、水痘ウイルスに感染しなければ、带状疱疹を発症することはありません。近年、带状疱疹の方からの成人の水痘感染も報告されてきています。

ムンプス(おたふくかぜ)

[接種回数1回]

(推奨対象)

- ・おたふくかぜに罹ったことが無い方
- ・抗体が低い方



成人男性が感染をすると、睾丸炎をきたし無精子症という男性不妊を引き起こす場合があります。また感染後に難聴を起こす方もいます。

詳しくは、総生会健診センターへお問い合わせください。